

印字イメージ作成ソフト

THP ImageHelper

取扱説明書



本ソフトウェアをご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みの上、
正しくお使い下さい。

はじめに

このたびは、富士インパルス(株)製サーマルプリンター（THP シリーズ）をご購入いただき誠にありがとうございます。

この「取扱説明書」は、印字イメージ作成ソフト **THPImageHelper** の機能、操作方法について説明したものです。ご使用前にはこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

対応パソコン Windows2000／XP／Vista（日本語版）

本書は、Windows XP の場合をベースに作成しております。Windows2000／Vista をお使いの方は若干表示内容が異なる場合がありますので、ご注意願います。

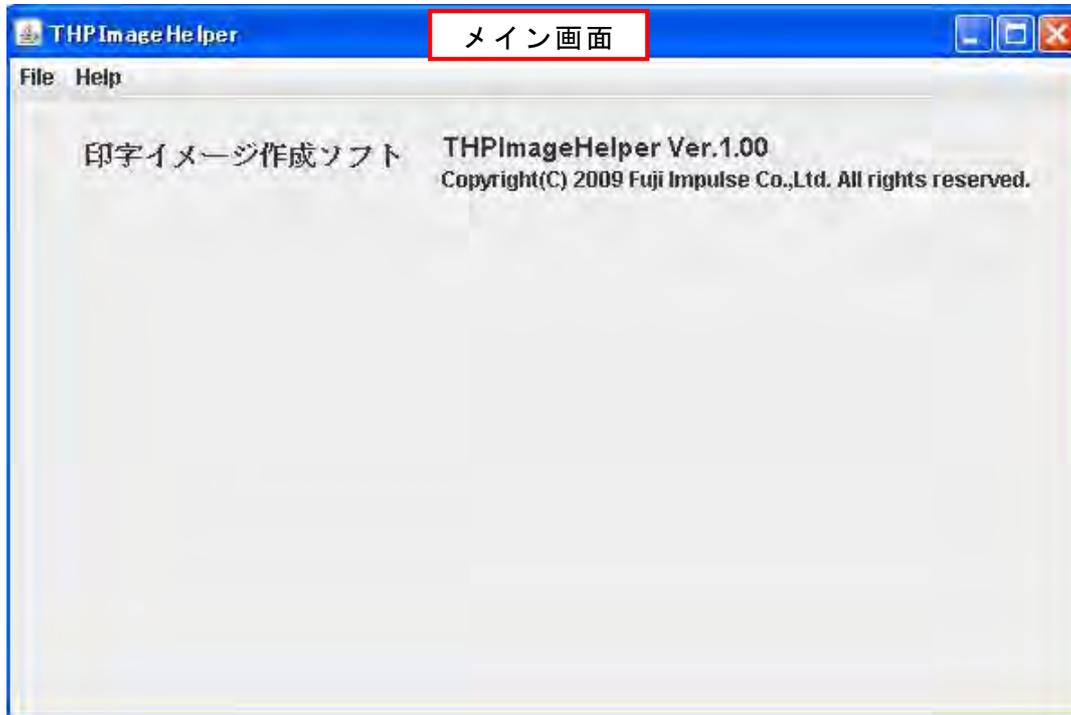
1. ご使用になる前に	2
1-1. THPImageHelper の起動確認	2
1-2. 印字イメージの構成	3
2. 操作説明	4
2-1. メイン画面	4
2-1-1. メイン画面操作方法	4
2-2. 印字イメージ編集画面	5
2-2-1. イメージ編集画面操作方法	6
2-3. 印字イメージ作成方法	7
2-3-1. 新規イメージファイル作成方法	7
2-3-2. 既存イメージファイルの編集	12
2-4. イメージデータ形式	15
2-4-1. 半角文字	15
2-4-2. 全角文字	15
2-4-3. 可変数字	15
2-4-4. 現在時刻	15
2-4-5. ナンバリング	16
2-4-6. 有効期限	16

1. ご使用になる前に

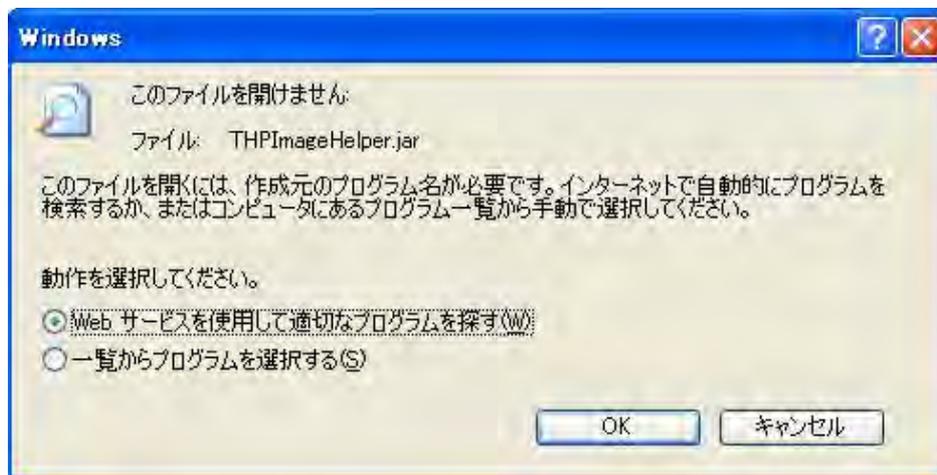
1-1. THPImageHelper の起動確認

THPImageHelper をダブルクリックして下さい。

○下図のメイン画面が表示された場合、起動確認は終了です。



○下図のような画面が表示され、THPImageHelper が起動できなかった場合、Java(TM)をインストールする必要があります。



下記 URL にアクセスして、「無料 Java のダウンロード」というボタンをクリックすると、Java(TM)のインストールが開始されます。インストール終了後、もう一度 THPImageHelper をダブルクリックし、起動するか確認して下さい。

< Java(TM)のインストールページ > <http://java.com/ja/>

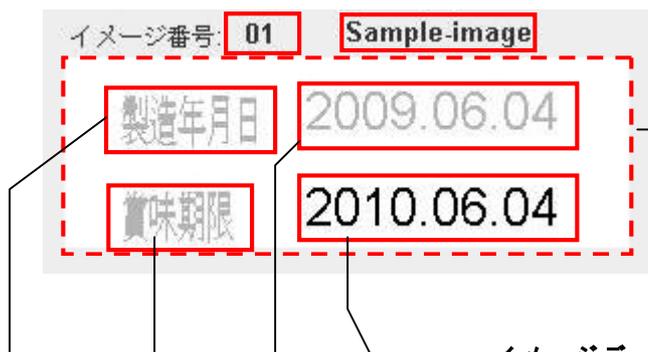
○解凍作業が始まり、「THPImageHelper」というフォルダが作成された場合、ご使用の解凍ソフトの設定で、[jar]ファイルへの関連付けを解除して下さい。関連付け解除後、もう一度 THPImageHelper をダブルクリックし、起動するか確認して下さい。

1-2. 印字イメージの構成

印字イメージとは、印字される全体のイメージであり、1つ以上のイメージデータから構成されます。また、印字イメージには識別のために、各印字イメージに対して、イメージ番号とイメージ名を1つずつ持ちます。

イメージ番号

印字イメージを識別するための番号。
THP-4012 では、このイメージ番号を選択して、印字を行います。



イメージ名

印字イメージを識別するための名称。

印字イメージ

印字される全体のイメージを指します。
ここに表示している印字イメージは、4つのイメージデータから構成されています。

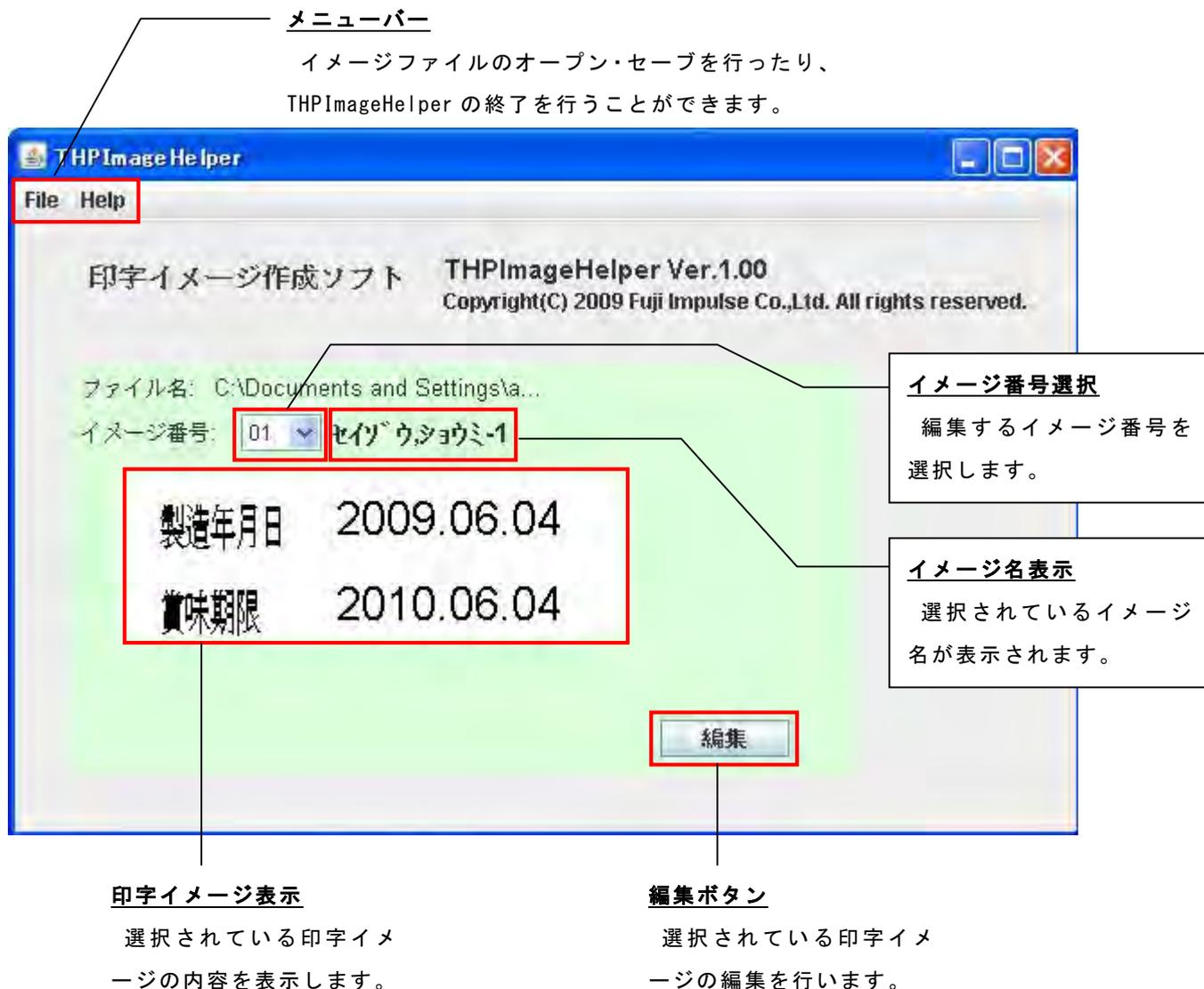
イメージデータ

印字イメージ内のそれぞれのデータ
(文字列)を指します。
イメージデータの詳細に関しては、
“2-4. イメージデータ形式”をご参照下さい。

2. 操作説明

THPImageHelper は、THP-4012 で印字するイメージの作成を行うことができます。
また、既存のイメージの編集も行えます。

2-1. メイン画面



2-1-1. メイン画面操作方法

○メニューバー

- ・ File -> New : 新しい印字イメージを作成します。
- ・ File -> Open : イメージファイルをオープンします。
- ・ File -> Save : 現在開いている印字イメージをセーブします。
- ・ File -> Exit : THPImageHelper を終了します。

○イメージ番号選択

イメージ番号の選択を行います。

イメージ番号の横にある  を押すと、現在登録されているイメージ番号が表示されますので、編集するイメージ番号をクリックして下さい。選択したイメージ番号と印字イメージが表示されます。

○編集ボタン

現在選択されている印字イメージの編集を行います。

編集ボタンをクリックすると、イメージ編集画面に移ります。

2-2. 印字イメージ編集画面



The screenshot shows the THPImageHelper Ver.1.00 interface. At the top, it says 'Image Editor' and 'THPImageHelper Ver.1.00 Copyright(C) 2009 Fuji Impulse Co.,Ltd. All rights reserved'. Below that, it says '印字イメージ作成ソフト' and 'イメージ編集画面'. The file name is 'C:\Documents and Settings\acad\My Docume...'. The image number is '01' and the name is 'セイゾウシヨウミ-1'. The image content shows '製造年月日 2009.06.04' and '賞味期限 2010.06.04'. Below the image, there are settings for '横位置' (03), '縦位置' (002), '種別' (2), '方向' (y), '横倍' (1), and '縦倍' (2). There is a '表示文字列' field containing '製造年月日'. At the bottom, there are buttons for 'Back', 'Next', '削除', '追加', '修正', and '終了'.

イメージ番号・名の表示
現在編集している印字イメージの番号とイメージ名が表示されます。

印字イメージ表示エリア
現在編集している印字イメージの内容が表示されます。

表示文字列編集
現在編集しているイメージデータの印字文字列を編集します。

修正ボタン
編集したイメージデータを印字イメージ表示エリアに表示します。

文字位置設定
現在編集しているイメージデータの先頭文字の位置を設定します。

データ種別表示
現在編集しているイメージデータの種別が表示されます。

文字倍率設定
現在編集しているイメージデータの文字の倍率を設定します。

Next・Back ボタン
次のイメージデータもしくは前のイメージデータの編集に移ります。

削除・追加ボタン
イメージデータの削除、追加を行います。

終了ボタン
イメージデータの編集を終了します。

2-2-1. イメージ編集画面操作方法

○文字位置設定

現在編集しているイメージデータの先頭文字の位置を設定します。

位置の設定は横位置と縦位置があります。

- ・横位置設定：先頭文字の横位置を2桁の半角数字で入力します。
設定範囲は、「00～39」です。
- ・縦位置設定：先頭文字の縦位置を3桁の半角数字で入力します。
設定範囲は、「000～011」です。

○データ種別表示

現在編集しているイメージデータの種別が表示されます。

- ・「0」：可変データ（現在時刻、有効期限、可変数字、ナンバリング）
- ・「1」：半角文字
- ・「2」：全角文字

*詳細は”2-4. イメージデータ形式”をご参照下さい。

○文字倍率設定

現在編集しているイメージデータの文字の倍率を設定します。

倍率の設定は、横方向と縦方向があります。縦・横ともに「1～4」倍まで設定できます。

数字の横にある  を押して、設定する倍率をクリックして下さい。

○表示文字列編集

現在編集しているイメージデータの印字する文字列を入力して下さい。種別が「0, 1」の場合は半角文字で、種別が「2」の場合は全角文字で入力して下さい。

○[Next]ボタン

次のイメージデータの編集に移ります。

○[Back]ボタン

前のイメージデータの編集に移ります。

○[削除]ボタン

現在編集しているイメージデータを削除します。

○[追加]ボタン

現在編集しているイメージに新しいイメージデータを追加します。

追加方法詳細は”2-3. イメージ作成方法”をご参照下さい。

○[修正]ボタン

文字列位置、文字列倍率、表示文字列を編集した後に、[修正]ボタンを押すと、編集内容が印字イメージ表示エリアに反映されます。

○[終了]ボタン

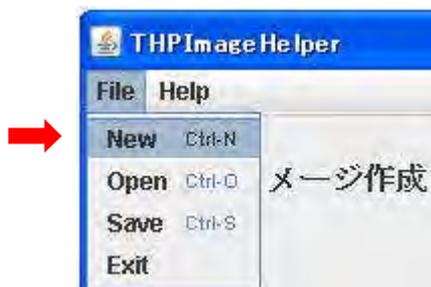
イメージデータの編集を終了し、メイン画面に戻ります。

2-3. 印字イメージ作成方法

2-3-1. 新規イメージファイル作成方法

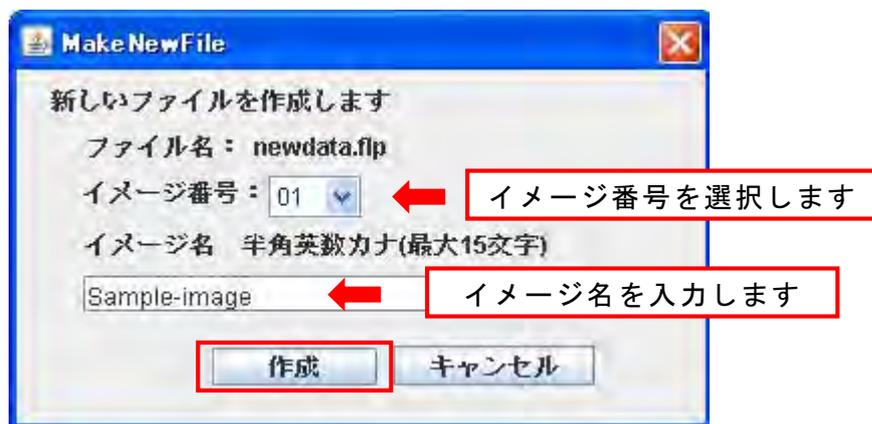
①THPImageHelper を起動します。

②メニューバーの File -> New をクリックします。



③作成するイメージ番号を選択し、イメージ名を半角文字で入力します。

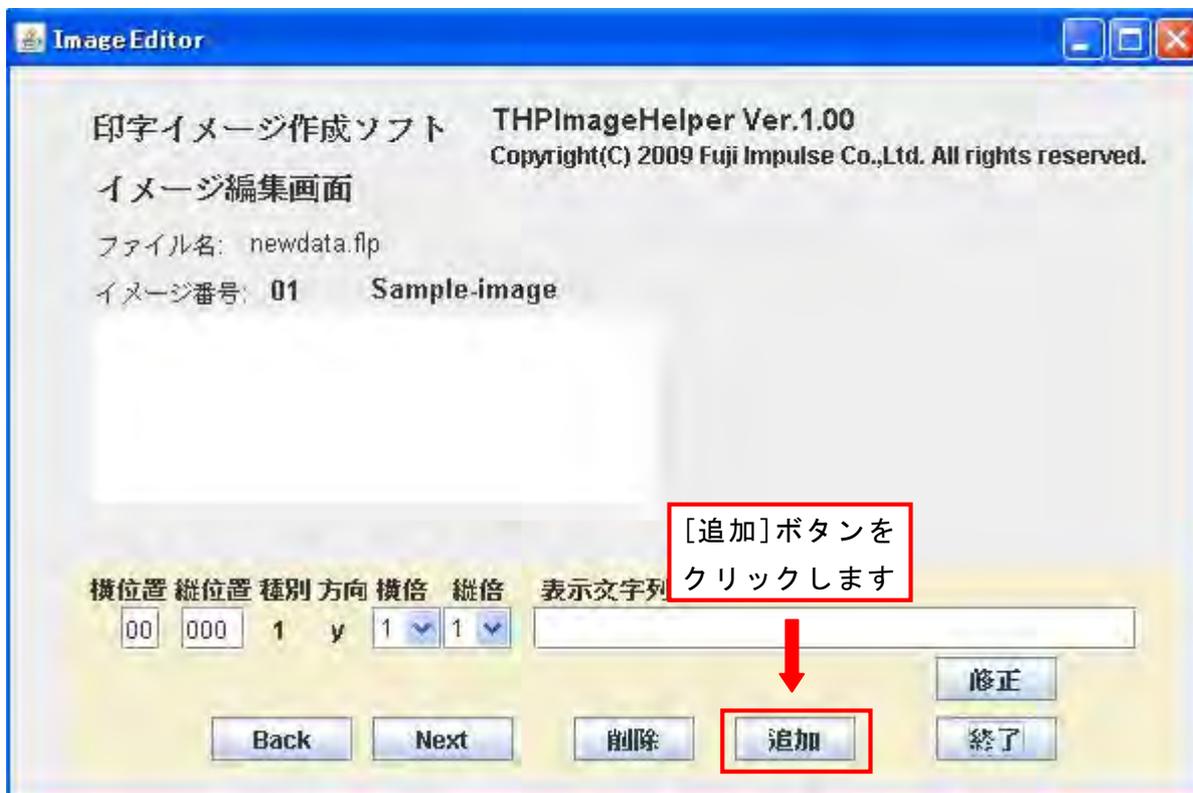
[作成]ボタンを押すと、メイン画面が表示されます。



④メイン画面の右下にある[編集]ボタンを押すと、イメージ編集画面が表示されます。



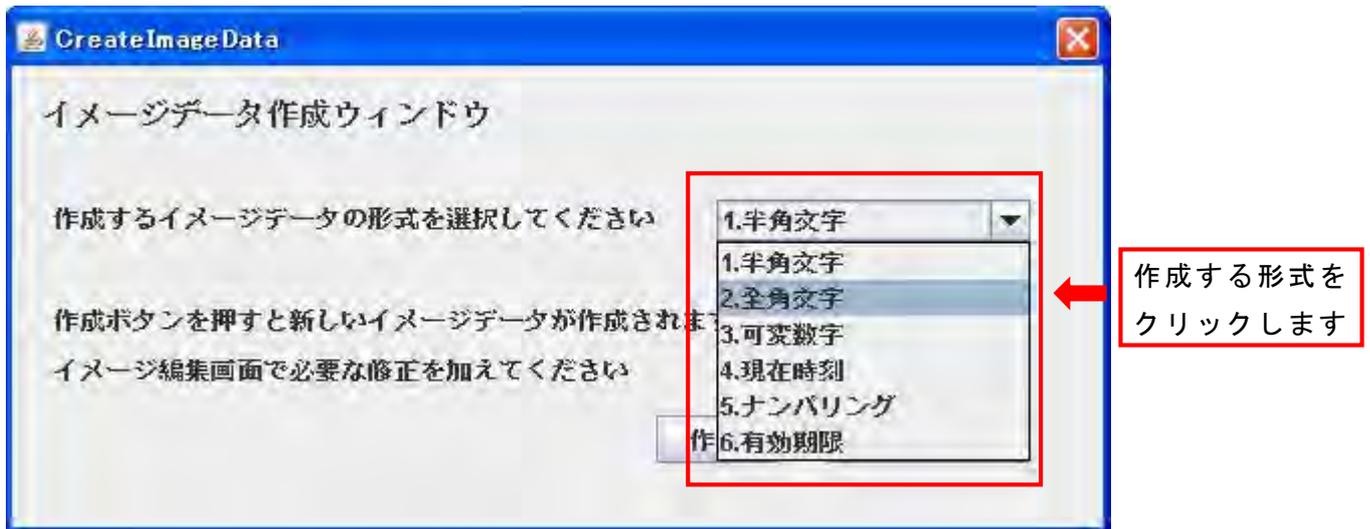
⑤イメージ編集画面の[追加]ボタンを押すとイメージデータ作成ウィンドウが開きます。



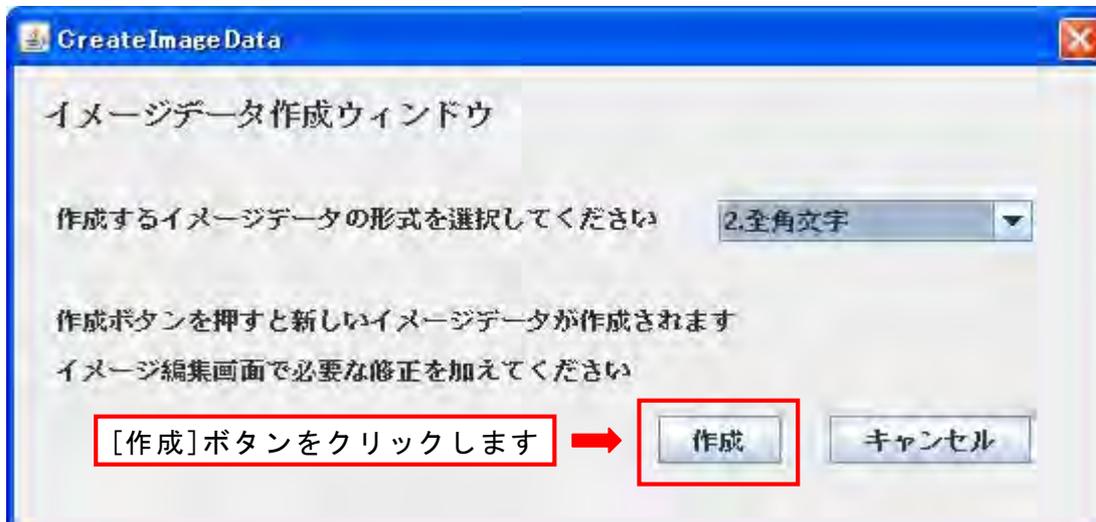
⑥作成するイメージデータの形式を選択します。

1. 半角文字：半角の文字です。
2. 全角文字：全角の文字です。
3. 可変数字：THP-4012の数字キーで変更可能な半角数字です。
4. 現在時刻：現在の日付け、時刻を印字できる文字です。
5. ナンバリング：指定枚数毎にナンバリング数字をカウントアップできる半角数字です。
6. 有効期限：指定期間後の日付け等を印字できる文字です。

*イメージデータ形式の詳細は、「2-4. イメージデータ形式」をご参照下さい。



⑦[作成]ボタンを押すと、イメージ編集画面に戻ります。



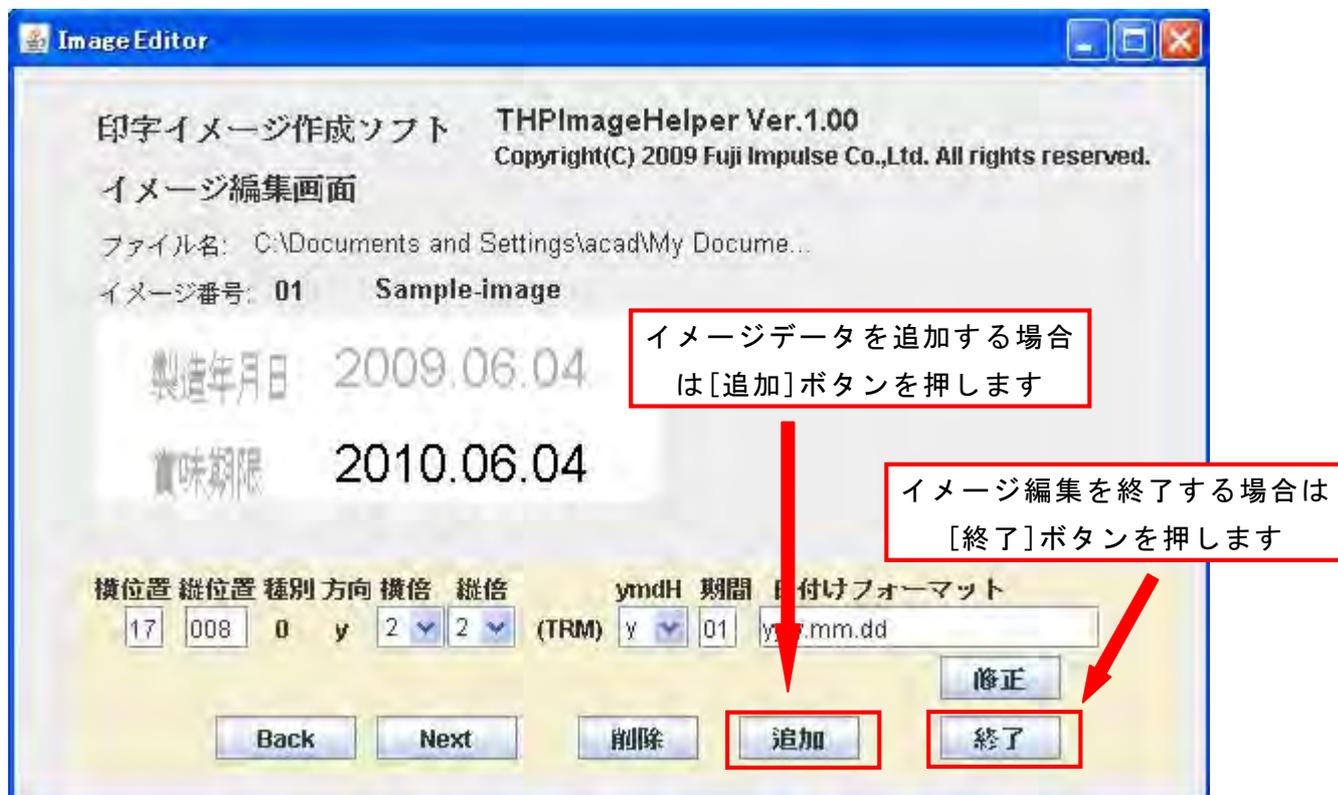
⑧イメージデータの編集を行います。

- A) 印字する文字列の先頭の位置を、「横位置」「縦位置」に入力します。
横位置は「00～39」、縦位置は「000～011」まで入力可能です。
- B) 印字する文字列の倍率を横・縦それぞれ設定します。
- C) 印字する文字列を入力します。
種別が「0」の場合、「2-4. イメージデータ形式」を参照し、文字列を入力して下さい。
種別が「1」の場合は半角文字を、種別が「2」の場合は全角文字を入力して下さい。

D) [修正]ボタンを押すと、印字イメージ表示エリアに編集したイメージデータが表示されます。



⑨イメージデータの追加を行う場合は、上記⑤～⑧を繰り返します。イメージデータ編集を終了する場合(イメージデータの追加が必要のない場合は、[終了]ボタンを押します。

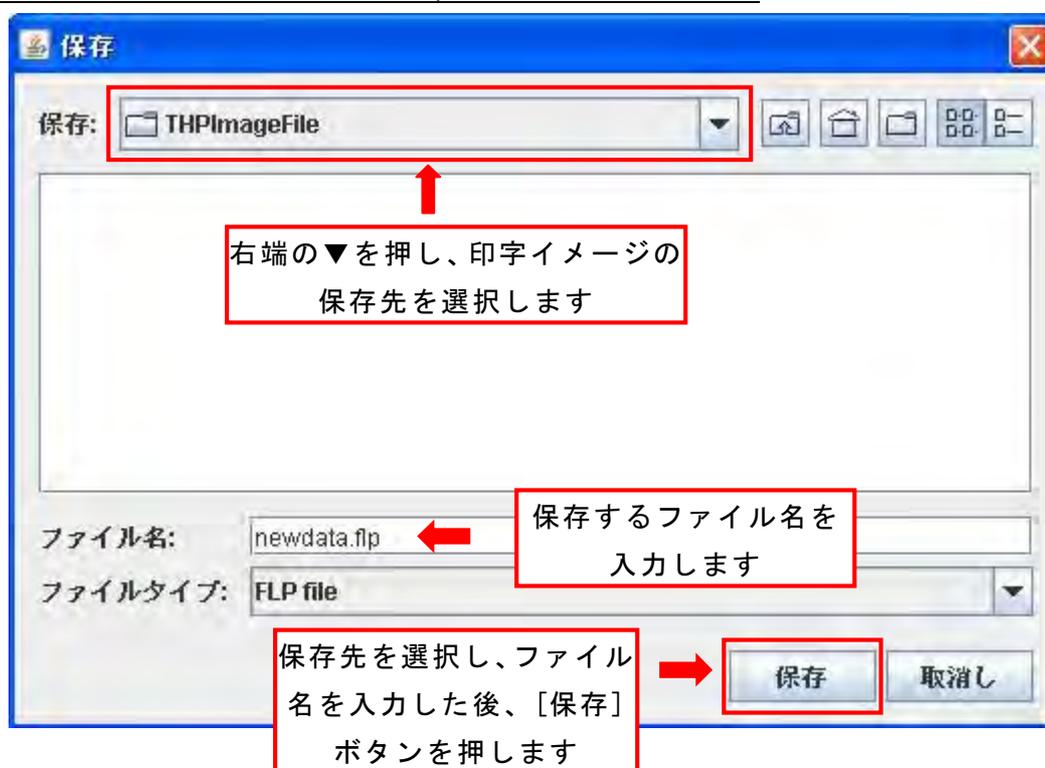


⑩ 次の印字イメージを作成する場合は、上記②～⑨を繰り返します。印字イメージの作成が終わり、印字イメージを保存する場合は、メニューバーの File → Save をクリックします。



⑪ 保存先とファイル名を指定し、保存ボタンを押します。

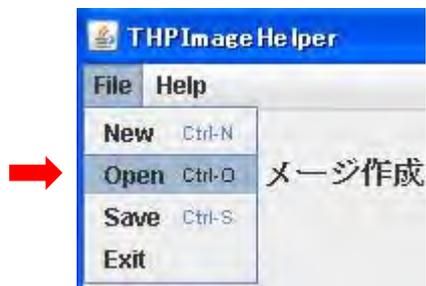
*ファイル名の最後には必ず「.flp」を入力して下さい。



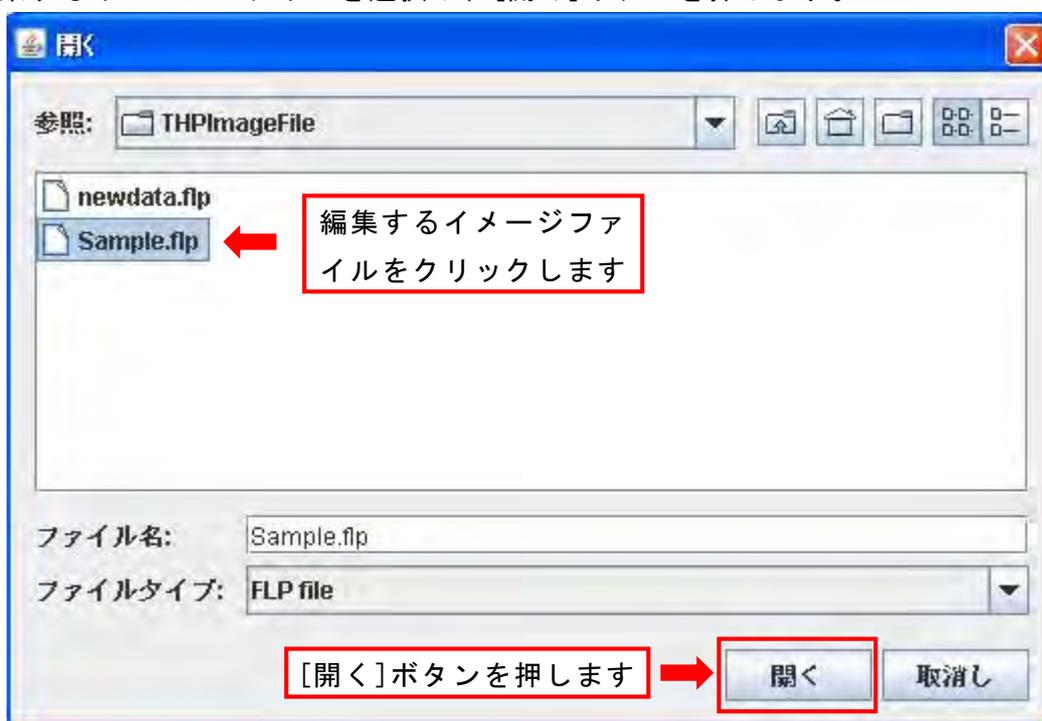
2-3-2. 既存イメージファイルの編集

① THPImageHelper を起動します。

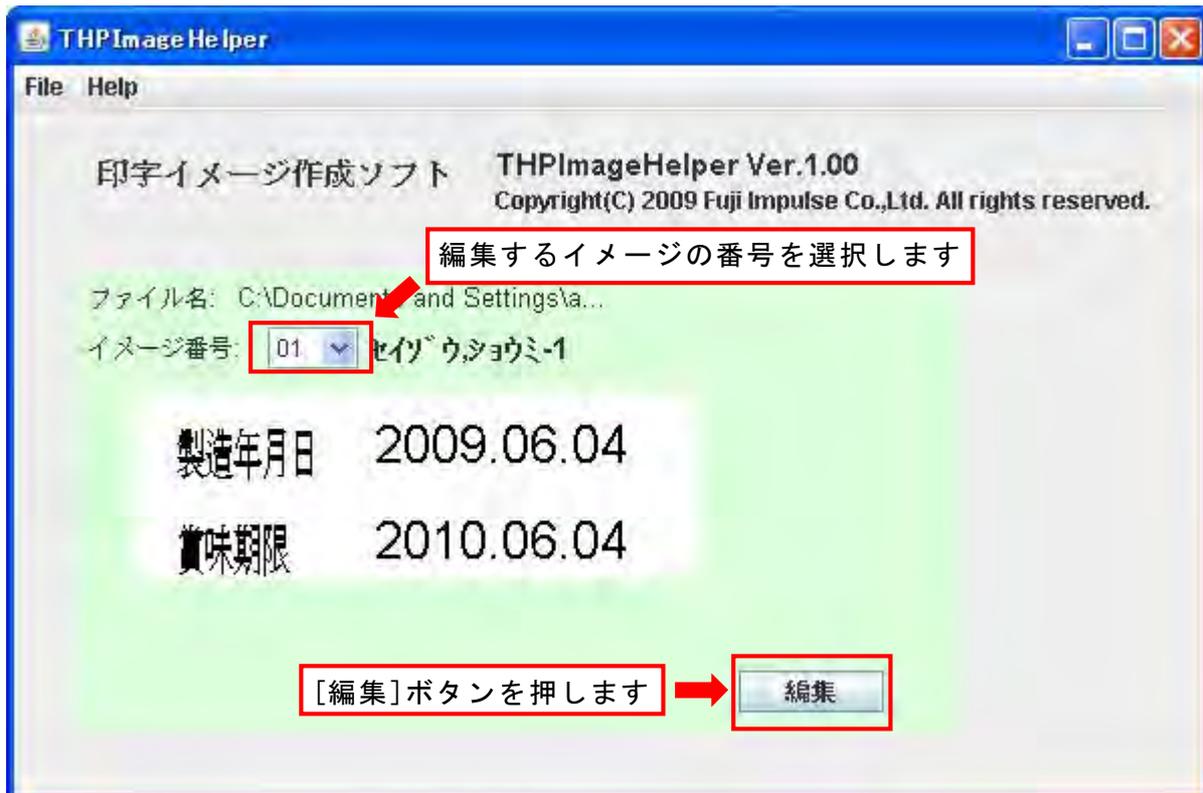
② メニューバーの File -> Open をクリックします。



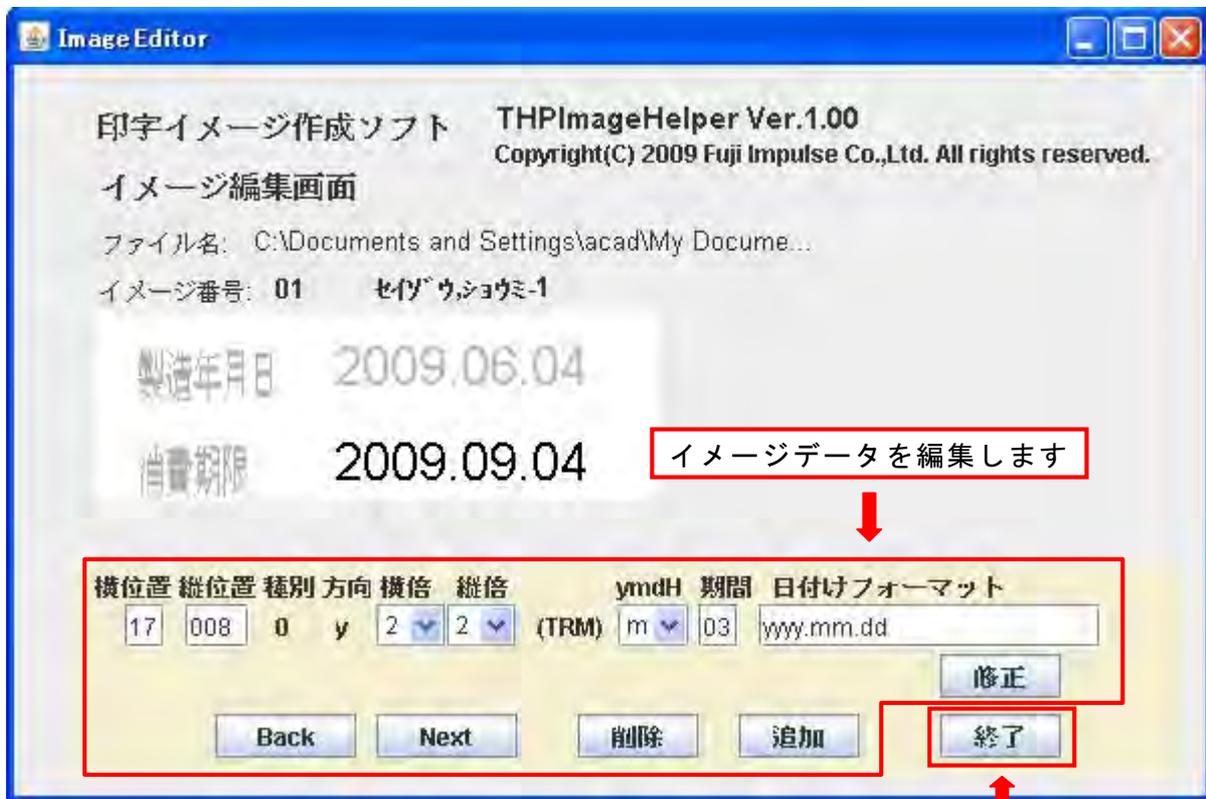
③ 編集するイメージファイルを選択し、[開く]ボタンを押します。



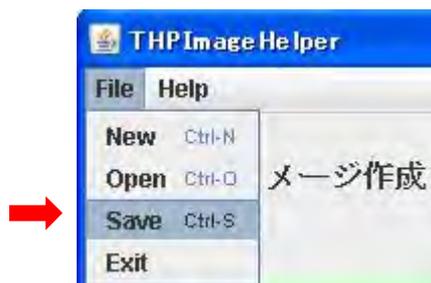
④編集するイメージの番号を選択し、[編集]ボタンを押します。



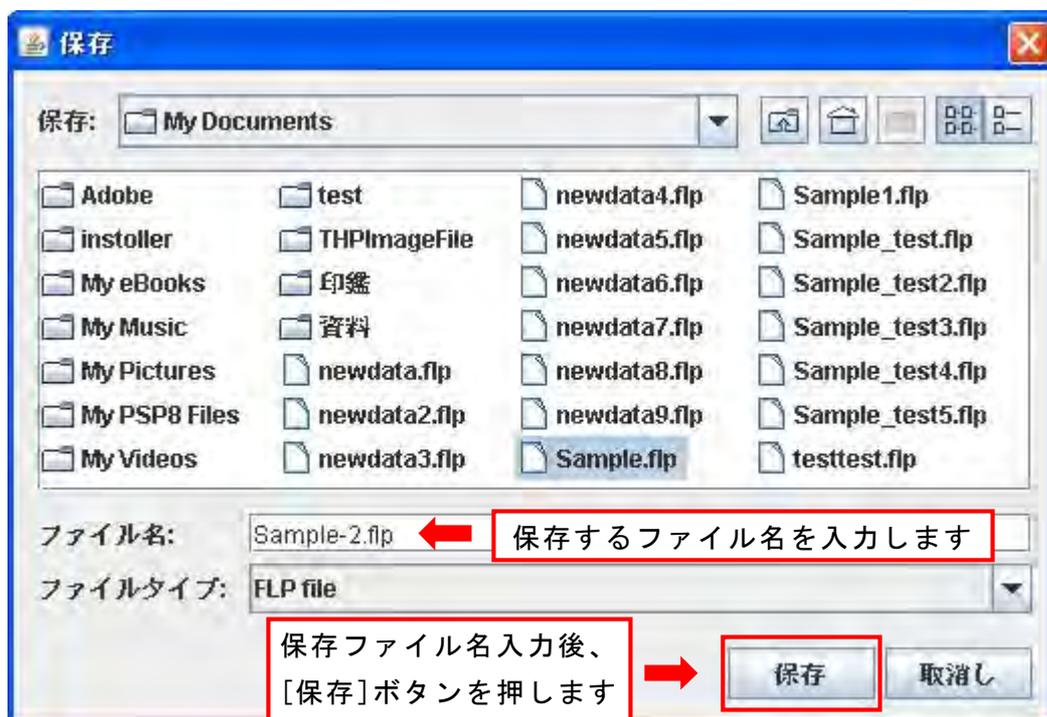
⑤イメージ編集画面が表示されますので、“2-3-1. 新規イメージ作成”の⑤～⑨と同様に
して編集を行います。編集を終了する場合は、[終了]ボタンを押します。



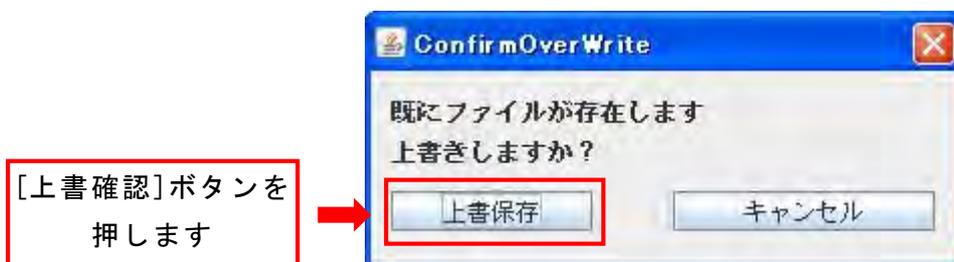
⑥他の印字イメージを編集する場合は、上記④～⑤を繰り返します。編集した印字イメージを保存する場合は、メニューバーの File -> Save をクリックします。



⑦ファイル名を変更して保存する場合は、新しいファイル名を入力し、[保存]ボタンを押します。



ファイル名は変更せずに上書き保存する場合は、[保存]ボタンを押し、上書き確認画面で、[上書き保存]ボタンを押します。



2-4. イメージデータ形式

イメージデータの形式には、下記の6つの形式があります。3. 可変数字、4. 現在時刻、5. ナンバリング、6. 有効期限 の4つは「可変データ」といいます。

2-4-1. 半角文字

半角の英文字、数字、カタカナ、記号です。

2-4-2. 全角文字

全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英文字、数字、記号です。

2-4-3. 可変数字

可変数字とは、THP-4012の数字キーにて、変更可能な半角数字です。

可変数字は最大15桁まで印字可能です。ただし、桁数はTHP-4012では変更できません。

可変数字のイメージデータ編集画面は下記のようになります。

横位置	縦位置	種別	方向	横倍	縦倍	可変数字	最大15桁
00	000	0	y	1	1	(VAL)	00000000

可変数字の初期値を入力して下さい。

修正

可変数字の場所に、可変数字の初期値を入力して下さい。この時に入力した桁数は、THP-4012では変更できませんので、ご注意ください。

2-4-4. 現在時刻

現在の日付けや時刻が印字できます。

表示フォーマットの場所に、印字したいフォーマットを入力して下さい。

- ・「yyyy」と入力すると西暦4桁印字、「yy」と入力すると西暦の下2桁印字となります。
- ・「mm」と入力すると月を2桁印字します。 ・「dd」と入力すると日を2桁印字します。
- ・「www」と入力すると、英文省略文字3桁で印字します。
- ・「HH」と入力すると、24時間表示で時間を印字します。
- ・「MM」と入力すると分を2桁印字します。 ・「SS」と入力すると秒を2桁印字します。

(注) 年月日と曜日は必ず小文字半角、時間・分・秒は必ず大文字半角で入力して下さい。

印字イメージ例（現在時刻が2009年6月4日 18時59分50秒の場合）

イメージ番号: 01 Sample-image

09/06/04 18:59:50

印字イメージ例

日付けフォーマットを入力して下さい

横位置	縦位置	種別	方向	横倍	縦倍	日付けフォーマット
00	002	0	y	2	2	(NOW) yy/mm/dd HH:MM:SS

2-4-5. ナンバリング

半角数字を指定枚数毎にナンバリング数字をカウントアップして、印字します。

指定枚数と、ナンバリング数字の初期値を入力して下さい。

指定枚数は「01～99」まで設定できます。ナンバリング数字は最大9桁まで印字可能です。

また、THP-4012ではナンバリング数字の桁数は変更できませんので、ご注意下さい。

横位置	縦位置	種別	方向	横倍	縦倍	枚数	ナンバリング数字 最大9桁
00	000	0	y	1	1	01	000000000

指定枚数を入力
して下さい。

ナンバリング数字の初期値を
入力して下さい

2-4-6. 有効期限

指定期間後の日付けが印字できます。

有効期限の単位と期間を入力してください。また、日付けフォーマットの場所に、印字したいフォーマットを入力して下さい。フォーマットは現在時刻のフォーマットと同様です。

印字イメージ例（現在の日付けが2009年6月4日の場合）

イメージ番号: 01 Sample-image

2009/09/04 ← 印字イメージ例

有効期限の単位を
入力して下さい。

日付けフォーマットを
入力して下さい。

横位置	縦位置	種別	方向	横倍	縦倍	ymdH	期間	日付けフォーマット
00	002	0	y	2	2	m	03	yyyy/mm/dd

有効期限の期間を
入力して下さい